

お客様に「安心」「信頼」して いただくために

vol.38 今後の安全関連投資

「JR西日本グループ中期経営計画」および「安全基本計画」において、より高い安全レベルを構築するため、安全関連投資を着実に実行してまいります。

中期経営計画における安全関連投資について

安全関連投資は、前回計画の3,600億円を上回る4,300億円を計画しています。これは、当社の設備投資計画の約55%となり、ATS-P形の整備の拡大、地震対策等さまざまな安全関連投資を計画的に実施します。



安全関連投資の取り組み例について

○レール探傷車の増備

レールの傷を早期に発見し、適切な処置を行うために、レール探傷車を増備します。



レール探傷車

○踏切事故防止対策の強化

踏切事故の低減を図るため、踏切警報機・遮断機、障害物検知装置および踏切支障報知装置の整備を進めます。



全方位型踏切警報灯

○GPS式列車接近警報装置の整備

GPS衛星により測位した作業者の位置情報と、列車の位置情報とを照合し、列車が接近していることを作業者に伝える列車接近警報装置の整備を進めます。

